

野村地域 地域づくり計画書

令和5年4月～令和10年3月

～自分たちの地域のことは自分たちの手で～

野村地域自治振興協議会



令和5年4月
野村地域自治振興協議会

はじめに

～自分たちの地域のことは自分たちの手で～

わたしたちは、『自分たちの地域のことは自分たちの手で』を基本理念に野村地域自治振興協議会を発足させました。

これまで、行政などに任せていた『まちづくり』を、地域に住むわたしたち自らが、『考え』、『動き』、今のわたしたちが暮らしやすく、子どもたちもずっと暮らしたいと思ってくれるような、魅力のある地域を目指してともに歩んで行きたいと思えます。

I. キャッチフレーズ、基本方針、推進目標

みんなの和で楽しく暮らせる地域をつくろう

野村地域自治振興協議会では部会体制を整え、各部会が特徴ある地域づくりを展開しています。

基本方針

情報・研修部会
意識向上活動

交流部会
みんなで
手をつなぐ活動

資源・施設部会
自然に
優しい活動

推進目標

野村地区の
情報発信

地域を学び・感じる

地域を想う

安全安心な
地域

交流する
地域

行事に参加する
地域

資源を守り活かす

環境を守り活かす

農地林地を守り活かす

Ⅱ. 地域の現状

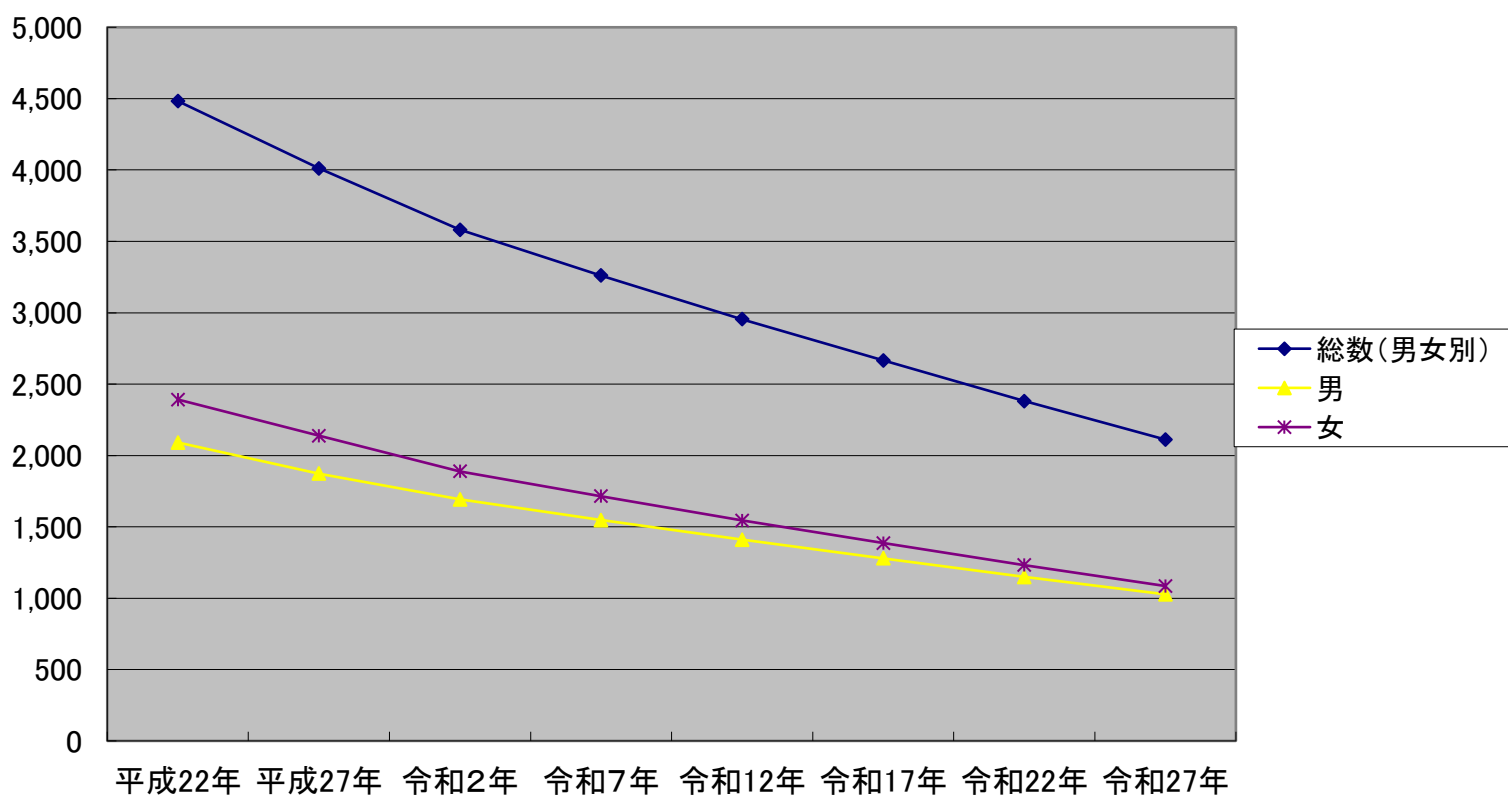
①人口の動態

	平成22年	平成27年	令和2年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年	令和27年
総数(男女別)	4,483	4,011	3,581	3,261	2,954	2,665	2,381	2,111
減少率	5.66%	10.53%	10.72%	8.93%	9.41%	9.79%	10.67%	11.32%
男	2,091	1,873	1,692	1,547	1,410	1,280	1,149	1,027
減少率	5.85%	10.43%	9.66%	8.57%	8.85%	9.25%	10.22%	10.63%
女	2,392	2,138	1,889	1,714	1,545	1,386	1,232	1,085
減少率	5.49%	10.62%	11.65%	9.24%	9.91%	10.27%	11.08%	11.95%
世帯数	1,668	1604	1468					

※『令和2年国勢調査 小地域集計』(総務省統計局) 第2表 男女別人口及び世帯数 一町丁・字等 を参考。

※『日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計』(国立社会保障・人口問題研究所)を参考。

野村地区の人口動態グラフ(男女別)



②地域の課題

野村地区は、西予市野村町の中心に位置し、西予市役所野村支所や消防署、学校施設などの公共施設、乙亥の里などの商業施設が立地した社会生活基盤の集合地です。

令和4年4月1日現在、野村地区の人口は3,893人、高齢化率は42.5%となっています。慢性的な人口減少に歯止めがかからず、今後限界集落になると推測される行政区も多くあります。旧野村町の中心に位置しているものの商店街はシャッター街化し、若者不足や雇用問題、地域行事の縮小など状況は深刻化しています。

衰退した地域を支援するため、野村地域自治振興協議会では、平成23年度から開始した地域づくり交付金制度を活用し、各種地域団体と連携して「自分たちの地域のことは自分たちの手で」をスローガンに、地域の課題解決に向けて全力を尽くします。

この野村地域も平成30年7月には西日本豪雨により甚大な被害を受けました。野村地域の復興を応援してくれる「きずな人口(関係人口)」と手を取り合い、復興まちづくりを進めていきます。

また、令和5年度から「野村地域づくり活動センター」がスタートします。これまで地域の教育施設であった野村公民館が住民自治の拠点となります。行政相談のほか、人づくりや地域づくり、安心安全な地域福祉を柱に取り組んでいきます。

①少子高齢化対策や集落機能の維持が喫緊の課題であり、高齢者や子供に優しい活動を実施したり、地域コミュニティを充実させ、温かなまちづくりに寄与します。

②既存イベントから一歩踏み込み、地域の特性を活かした独自のまちづくりに取り組み地域活性化を推進していきます。

③危険箇所の把握や修繕は勿論のこと、住民の命や財産を守る安心安全な地域へと整備し、自助共助の精神が芽生える災害に強いまちづくりを実施します。

④地区に残る歴史や伝統文化を忠実に保存・継承して、未来の子供たちへと繋いでいく郷土愛を育みます。

③地域の資源

自然景観

- ・愛宕山:野村地区の中心地から北側に位置する山。
- ・桂川溪谷:吉森山系を分水嶺に北流する深山川が、東西に走るチャート層を横切るように浸食してつくられた溪谷。
- ・野村丘陵:野村盆地の外縁部に発達する丘陵。
- ・野村台地:野村盆地を形成する台地の1つ。
- ・肱川水系宇和川:野村の西南西から東北東に流れる川。
- ・野村層群:野村から大暮に分布する地層。
- ・久保谷層:久保谷を流れるカラ杉川の右岸一帯に分布する層。

歴史・文化

- ・愛媛県指定文化財
泉貨居士の墓(竹之内)
- ・野村町指定文化財
木造十一面観音立像及び脇待二軀(次の川)
大塚源十郎五輪塔(中村)、白木ヶ城跡(片川)
大審院長児島惟謙苦学之地(本町二丁目)、野村四国八十八ヶ所(野村)
木造恵比須坐像(権現)、木造大黒天坐像(山本)、前嶽溝(野村)、桂川溪谷(野村)

伝統行事

- ・野村地区盆踊り大会:野村青年団が主催。
- ・野村地区秋祭り:毎年10月に開催
五ッ鹿踊:片川・次ノ川地区に継承されている。
シシ舞:古市地区で継承されている。
東西二台の御神輿と牛鬼が町内を練り歩く。
- ・亥の子:愛護班を中心に今年の豊作を感謝して神様をお送りする。
- ・乙亥相撲:乙亥会館で火災除けを祈り相撲を奉納する。
- ・山の神奉納相撲:農友地区、野村小学校を会場に地域の子供から大人まで相撲を奉納する。
- ・薬師相撲:川東地区の子供から大人まで相撲を奉納する

施設や組織・団体

- ・施設
西予市野村支所、野村地域づくり活動センター、西予市消防署野村支署、乙亥会館、保健福祉センター、野村運動公園、野村野球場、野村病院、つくし苑、野村クリーンセンター、野村浄香苑、野村保育所、野村幼稚園、野村図書館、野村児童館、ほわいとファーム、シルク博物館、絹織物館、青汁工場(グリーンヒル)、ししの里せいよ、野村交番、愛媛県畜産試験場、営農指導センター、野村ダム、野村ダム管理所、野村小学校、野村中学校、野村高校、法正園、育成園、野村学園、西予市森林組合、野村プール
- ・組織・団体
野村地区財産区、野村町商工会、西予市森林組合、西予市社会福祉協議会、野村婦人会、野村青年団、野村若葉会、野村老人クラブ、野村愛護班、野村幼稚園PTA、野村小学校PTA、野村中学校PTA、野村高校PTA
NPO法人シルミルのむら、一般社団法人NEOのむら(愛媛大学、大阪大学)

農地・林地

- ・農地
約500ha 主に水稻、飼料が多い。
- ・林地
約2000ha 主に杉・檜が多い。

④年間行事

- 1 地域住民相互の情報交換並びに交流親睦の推進
- 2 地域発「せいよ地域づくり」事業の推進
- 3 各地区・各部会活動の推進

月	事業内容	備 考
4	基礎型・手上げ事業交付金申請	
5	野村地域自治振興協議会総会	
7	みんなの想火事業	竹を通して出会う、つながるをテーマに竹あかりを制作し、復興のシンボルである乙亥会館で展示する。ワークショップも開催しながらゆるやかなコミュニティを形成する。
8	のむら納涼祭事業	青年団が中心となり、若い世代で盆踊り大会を開催し、地域を盛り上げる。小・中・高校生のイベントへの参画。
12	のむらまちテラス事業	朝霧ロードイルミネーション実行委員会と共催し、乙亥会館周辺をイルミネーションで装飾し、点灯式やバレンタインイベントも開催する。
通年 継続	自治活動支援事業	各地区で必要不可欠なハード事業・ソフト事業の支援を行う。集落機能強化を図る。
通年 継続	酒文化伝承と活用事業	野村特有の酒文化を地域づくりに活かす。酒蔵の調査・研究やサシアイ文化の確立など、子どもたちを交えた事業とすることで、幅広い周知と定着に努める。また屋台村を開催し、飲・食を通じた交流事業を実施することにより、地域活性化を図る。
通年 継続	野村地区PR事業	野村地区の情報発信のための情報誌作成や動画を制作し、PRする。またホームページの更新を図る。
通年 継続	自伐林業家の育成及び推進	野村地区の新しい産業として、自伐林業の活性化を図るため、研修・実技等を通年実施。
通年 継続	拠点整備事業	災害復興の拠点施設として本家緒方蔵やentohouseの整備や自治振事務所・窓口の機能の充実を図る。観光案内やイベント情報などビジターセンター機能も構築する。
通年 継続	有機農業促進による地域経済活性化と人財育成事業	地域の経済を支えていた農業も高齢化が進み、就労者も減少し、耕作放棄地も増えている。次世代の就労者が地域で経済を成り立たせていくために「選ばれる稼げる有機農業」を提唱し、若者の休日の営農就労なども支援。担い手育成後は指導者となり、地域の就農者を人財育成すると共に、特産品開発なども行う。
通年 継続	移住交流事業	移住マッチング事業や農泊体験修学旅行生受け入れ事業を通して地域を知ってもらい、移住者や関係人口の増加を目指す。

通年 継続	高校魅力化支援事業	高校生地域づくり団体「N-ジオチャレ」が楽しく地域のために活動できるよう支援し、地元の高校の魅力化推進に努める。
通年 継続	復興まちづくり事業	災害伝承室ガイド派遣や復興コンサート、銘酒緒方洪庵復活など様々な復興支援を受け、地域を元気にしていく。
通年 継続	のむらブミーティング事業	野村地区民全員を対象に、定期的な意見交換会を実施。そこから地域課題や必要な事業を吸い上げ、関係機関との連絡連携により実動していく。
通年 継続	青少年育成事業	地域の子どもたちにツリークライミングや映画塾など多様な経験を通して自主性や協調性、郷土愛を育むため、地域人材を巻き込んで実施する。
通年 継続	がいなんよ大学inのむら	本家緒方蔵を拠点に開催。愛媛大学や大阪大学と連携して関係人口や防災をテーマにアカデミックな学びの機会を創出する。

その他、部会や自治振役員会の開催や他団体との協議を適宜行う。また視察・研修の実施、地区内各種イベントへの参加・協力を行う。

地域づくり活動センターの円滑な運営と体制構築

大阪大学、愛媛大学、他関係機関と連携した地域づくり活動

野村高校魅力化など地域と学校の連携協働活動

⑤活動状況写真

のむラブミーティング



酒トオオオーク!!番外編酒豪伝説



有機農業プロジェクト



ゲストハウス「entohouse」WS



のむラブソングスライブ



全国高校生まちづくりサミット(オンライン)



e-スポーツ体験会



朝霧寫真館



竹あかり点灯式



高校生まちづくりサミット



心のバリアフリーinのむら



ゲストハウス「entohouse」



復興コンサート



ショートムービー制作



きずな博キックオフイベント



ITつながり講座



映画塾



のむラジオ

愛媛県に位置する
西予市野村町を、
大学生が解剖します。

第2回「高岡伸次（大門）さん」
3月2日（水）20-21時
@Twitter スペース

のむラジオ

謎多き人物、大門さん。
ディープな野村を味わいます

MC スイミー 大門さん

乙亥史編纂



のむライクな集い〜新作落語とお酒のタバ



第4回酒トオオオーク



緒方洪庵第二弾販売開始

第二弾
販売開始!

緒方洪庵

ご購入はこちらから →

FAXでのご注文、お取り寄せも承っております。

お取り寄せ先
〒791-0202 愛媛県西予市野村町 1-1-1
TEL: 089-222-2222 FAX: 089-222-2222

のむらまちテラスイルミネーション



移住マッチング事業



Ⅲ. 地域づくり計画策定の経過

- | | | |
|----------|------------|---------------|
| ・事前打ち合わせ | 平成28年2月24日 | 役員会 |
| ・総会 | 平成28年5月9日 | 野村地域自治振興協議会 |
| ・計画策定の検討 | 平成28年5月24日 | 役員会 |
| | 平成28年6月6日 | 部会 |
| | 平成28年7月4日 | 役員会 |
| ・計画策定 | 平成29年2月8日 | 野村地域 地域づくり計画書 |
| ・計画変更 | 平成29年5月12日 | 野村地域自治振興協議会 |
| ・計画変更 | 令和5年3月20日 | 野村地域自治振興協議会 |

IV. 地域づくり計画の実践に向けて

野村地域自治振興協議会組織図

